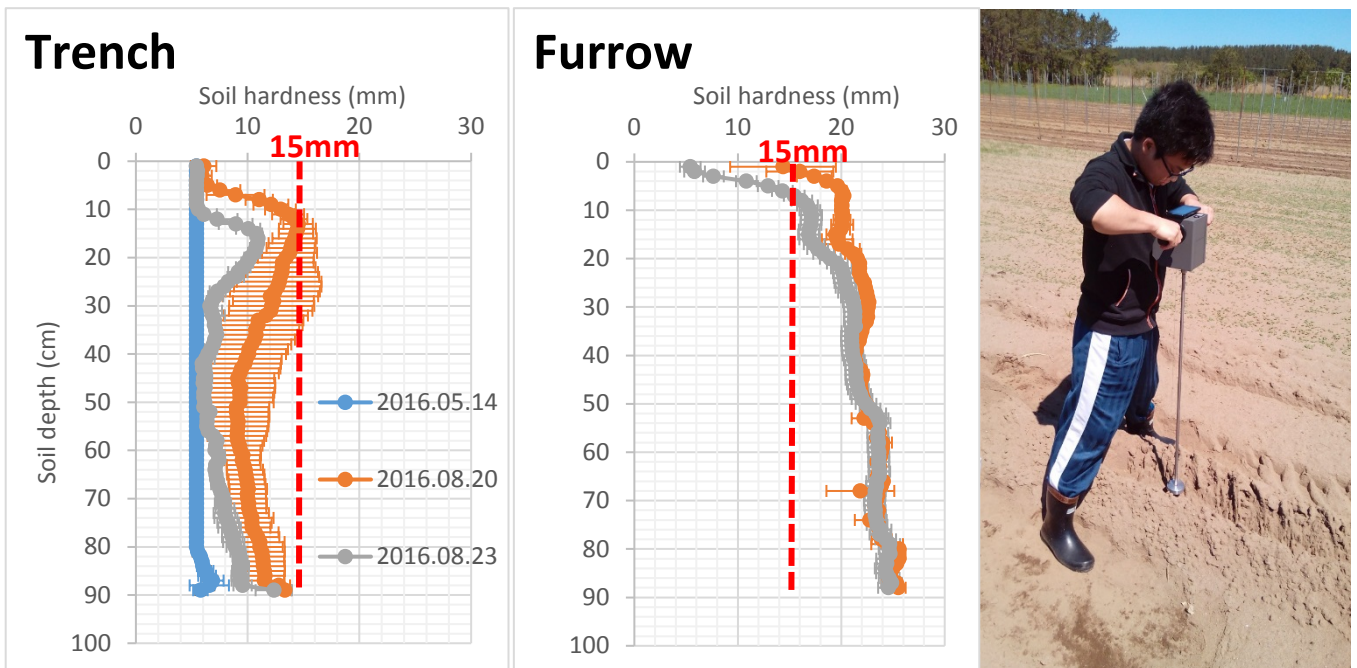


1. 担当教員：遠藤 明・加藤千尋・佐々木長市（連絡先：農学生命科学部総務まで）
2. タイトル：高品質なナガイモ生産を目指した青森県内のナガイモ畑の土壌物理性の改良
3. 概要：本研究は青森県上北地域および青森県西北地域におけるナガイモ畑における土壌理化学性の低下が根菜類の品質に対してどのような影響を与えるのかを解明することにある。本研究を行うことにより当地域のナガイモの品質向上に寄与することが可能である。平成 28 年度はナガイモ塊茎の伸張・肥大の制限因子として、どのような土壌物理性パラメータが効いてくるのかということをも明らかにするために、長年の踏圧により締固められたナガイモ圃場の土壌硬度分布と土壌水分分布の特徴を把握している状況にある。青森県西北地域（屏風山地域）のナガイモ作付圃場の畝および畝間において、鉛直下方向の土壌硬度分布と土壌水分（体積含水率）分布を測定した。トレンチャーを用いて形成した植溝の土壌硬度は深度によらず約 5.4mm と膨軟であったのに対し、畝間では深度 15～25cm に土壌硬度の最大値（約 20mm）が認められた（硬盤層の存在）。

#### 4. 参考資料



図左：植溝の土壌硬度分布

図中：畝間の土壌硬度分布

写真右：土壌硬度測定の様子